

平成30年度 横浜市学習状況調査結果

1 学年学習状況調査結果

R元年度	よい状況と考えられる内容	指導・改善が必要と考えられる内容
2年生	<ul style="list-style-type: none"> ○国語 <ul style="list-style-type: none"> ・話し手が話す事柄の順序を意識しながら聞き取ることができる。 ・配当漢字を文の中で正しく書くことができる。 ○算数 <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのものの長さを、任意単位を用いて比べることができる。 ・正しい時刻の読み方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○国語 <ul style="list-style-type: none"> ・語と語の続き方に注意しながら、つながりのある文を書くこと。 ○算数 <ul style="list-style-type: none"> ・等間隔で右にいくほど数が大きくなる数直線の特徴を理解し、2とびの数が分かる。
3年生	<ul style="list-style-type: none"> ○国語 <ul style="list-style-type: none"> ・話す事柄を順序立てて話すことができる。 ・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。 ○算数 <ul style="list-style-type: none"> ・数のまとまりの見方を工夫し、九九を用いて全部の数を効率よく考えることができる。 ・提示された形が正方形かを確認するために、正方形の定義を基に調べる方法を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○国語 <ul style="list-style-type: none"> ・かぎ（「」）の使い方を理解して文章の中で使うこと。 ○算数 <ul style="list-style-type: none"> ・$(3 \text{ 位数}) - (2 \text{ 位数}) = (2 \text{ 位数})$ で、波及的に繰り下がる減法計算。
4年生	<ul style="list-style-type: none"> ○国語 <ul style="list-style-type: none"> ・目的や必要に応じて文章を読み、要約することができる。 ・目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くことができる。 ○算数 <ul style="list-style-type: none"> ・十進位取り記数法を用いて、兆までの大きな数を読むことができる。 ・長さに着目して、面積の求め方を多面的に考えることができる。 ○社会 <ul style="list-style-type: none"> ・深良用水の工事によって、地域の人々の生活が向上したことを考えることができる。 ・資料や年表から、深良用水の工事が芦ノ湖と深良村の両側から進められていて、工事に4年かかったことを読み取ることができる。 ○理科 <ul style="list-style-type: none"> ・人が体を動かすことができるしくみを理解している。 ・金属は、温めたところから順に温まっていくことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○国語 <ul style="list-style-type: none"> ・司会の役割を理解し、話合いを進めること。 ○算数 <ul style="list-style-type: none"> ・単位正方形の個数を用いて、面積の求め方が分かること。 ○社会 <ul style="list-style-type: none"> ・まちを守る消防団員の役割を理解すること。 ○理科 <ul style="list-style-type: none"> ・火を使った実験を安全に行うこと。
5年生	<ul style="list-style-type: none"> ○国語 <ul style="list-style-type: none"> ・配当漢字を文の中で正しく書くことができる。 ・目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くことができる。 ・目的に応じて中心となる語や文を捉え、全体の構成を押さえて、文章を読むことができる。 ○算数 <ul style="list-style-type: none"> ・分度器を用いて、角の大きさを測定することができる。 ・長さに着目して、面積の求め方を多面的に考えることができる。 ○社会 <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理の仕組みを整えている名古屋市のごみ処理の意図について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○国語 <ul style="list-style-type: none"> ・司会の役割を理解し、話合いを進めることができる。 ・慣用句の意味を知り、文の中で正しく使うことができる。 ○算数 <ul style="list-style-type: none"> ・除法について成り立つ性質を活用した際の余りの処理の仕方が分かる。 ○社会 <ul style="list-style-type: none"> ・資料から、湖と川だけでなく、取水場や浄水場でも水質検査を行っていることを読み取ることができる。

	<p>○理科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金属は温めたところから順に温まっていくことを理解している。 ・予想を確かめるために比較実験の計画を考えることができる。 	<p>○理科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球から見た月は、東から上り西の方に沈むように見えることを理解している。
6年生	<p>○国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開に着目して文章を読み合い、よさを見付けることができる。 ・同じ読み方をする漢字を文の中で正しく使うことができる。 <p>○算数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗数が1より大きい場合に積は被乗数より大きくなり、除数が1より小さい場合、商は被除数より大きくなるのが分かる。 ・平行四辺形を対角線で2つに分けてできた三角形と合同な三角形が分かる。 <p>○社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の米作りの盛んな地域を理解している。 ・見学やインタビュー、本やビデオ、新聞やテレビなどいろいろな方法で調べている。 <p>○理科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の様子が変わったことについて、天気の様子と流水の働きを関係付けて考えることができる。 	<p>○国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事物のよさが明確に伝わるように話すことができる。 <p>○算数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面や表から「比例」しているかどうかを理解している。 ・合同な三角形の作図を通して、合同な四角形のかき方を考えることができる。 <p>○社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な食料の自給率について理解している。

2 生活・学習意識調査結果

- 朝ごはんを毎日食べる児童が多い。
- 誰かの役に立つ人になりたいと考える子どもの割合が、横浜市の平均より高く、低学年ほど高かった。
- 「授業では、自分の考えを発表しているか。」という質問に対して、「している」と回答した児童の割合は、低学年ほど高かった。
- 「学校は安心できる場所か。」という質問に対して、「そう思う。」「どちらかといえば、そう思う。」答えた児童が9割近くいた。
- 「いじめはどんな理由があってもいけない」という質問に対して、9割近くの子どもの「思います」と回答していた。
- 「一生けんめい取り組んでいることはあるか」という質問に対して、全学年を通して横浜市の平均より高かった。

〈調査結果を踏まえての今後の取組〉

- 学年の実態に応じて、TT指導、教科担任制など多くの教員が関わる授業形態を効果的に取り入れていくことで、基礎・基本の定着を図る。
- 重点研究として、自分の考えや思いを伝えようとする子どもの育成を目指した授業づくりをしていく。子どもたちが主体的に学びながら、自己表現力を高められるようにする。
- 全校縦割り遠足や縦割り集会、縦割り給食等の異年齢同士のつながりを大切にした活動を通して、相手を思いやる心情を育てるとともに、誰もが安心して豊かに学校生活を送ることができるようにする。